

5 同音異義語と関連付けて漢字の表意性・表音性の理解を深める指導について
(5・6年)

<p>【学習プリント】</p> <p>何かおかしい？ ↳変換ミスコンテスト 五百円で親使わないと。 これから家事二千年します。 最近では体調が婦長です。 寄生虫で渋滞だ。 今年から貝が胃に住み始めた。 生ごみが産卵しています。 大腿骨がつかめると思っています。</p>	<p>〔正しい変換〕</p> <p>五百円でおやつ買わないと。 これから家事に専念します。 最近では体調が不調です。 帰省中で渋滞だ。 今年から海外に住み始めた。 生ごみが散乱しています。 大体こつがつかめると思っています。</p>
<p>【指導の流れ】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 「漢字の特質」表意性・表音性」についての学習であることを確認する。 2 アルファベットや平仮名と漢字を比較して、「表意性」について実感させる。 3 指名して、一文ずつ読み方を確認していく。 4 学習プリント『変換ミスコンテスト』を配布し、すべての文に振り仮名を付けさせる。 5 例文を正しい漢字に直させる。 「間違っている部分に傍線を引き、正しい使い方直しましょう。」 「間違いが二カ所以上のももあります。」 6 三〜四名のグループになり、互いの考えを交流させる。 7 グループごとに問題を分担し、直した文を黒板に書かせる。 7 まとめとして、漢字が例外なく「特定の意味をもつ」ことに触れ、使い方に注意が必要であることを確認する。 	<p>【留意点】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 漢字の「表意性」を示す例を示す。 ・学校に木ます。 ・高価を歌う。 2 なるべく大きな声を出して読ませること で、各文の変換ミスを実感させる。 3 この時点で教室がざわめき始めるが、振り仮名を付けることだけに専念させる。 4 直せないものについては、後回しにして構わないことを伝える。 5 必要に応じて国語辞典・漢字辞典を使用してよいことを伝える。 楽しく考えながら、「漢字の特質」に触れさせることがねらいなので、個々の発想を大事にさせる。 7 上記に加え、次の点にも触れておく。 ・漢字を熟語で練習することの大切さ ・文章をワープロ作成する際の留意点 参考資料 日本漢字能力検定協会HP